縹十五句

松岡隆子選

冬の朝古き映画のやうに貨車　佐藤郭子

滝音の逸りて師走すぐそこに　廣瀬ハツミ

山眠るなごりのぬくみあるうちに　唐木和世

先生がゐて綿虫を連れてくる　田坂孝志

青空を宙にはめこみ十二月　川上昌子

ほどほどの日射しが路地に鉢の菊　渡辺あつ子

遠ざかる雪虫ふはと日を撥ねて　髙橋愛子

愛日の船の二三を相模灘　平沢千恵子

冬滝の圧倒鳥を寄せつけず　広渡詩乃

年の湯や昭和は永き懐かしき　相馬晃一

人ごゑを遠くにしたる寒さかな　珍田千代子

枇杷の花歳月ひとを一人にす　醍醐喜美枝

冷戦の妻より蜜柑ころがり来　梶浦道成

蹲の石白々と水涸るる　菊池京子

ほつほつと星の見えくる冬木道　町田洋子